板橋区立志村第六小学校　令和８年度　学校経営方針及び学校経営計画

令和８年５月１５日（金）
校長　　渡邉　　民雄

【蓮根地区学びのエリア※　目指す児童・生徒像】※志村第三中・蓮根小・蓮根第二小・志村第六小
知･･･主体的に課題に取り組み、自分の考えを分かりやすく表現する力を身に付けた児童・生徒
徳･･･認め、励まし、共に成長する児童・生徒
体･･･自らの心身の健康に向き合い、進んで体を動かそうとする児童・生徒

【本校の教育目標】学・共・健　ー共に学び健やかにー
人間尊重の精神を基調とし、知（学び）・徳（心）・体を磨き、自らの可能性を高めていく子どもを育成する。

【目指す学校像】　志六小の子「一生懸命」「思いやり」「プライド」
子どもたちの「わくわく」「楽しい」を追求し、協働する学校（チーム志六）
⇒令和８年度スローガン　もっと「わくわく」「楽しい」明日へ！
○**子どもが、**夢中になって学び、友達とのかかわりを通して互いを認め合い、安心して自分のよさを発揮し、明日を楽しみにする学校　**※ほっとルーム開設**
○**保護者が、**「この学校に通わせてよかった」と安心し信頼して子どもを任せられ、協力したいと思える学校
○**地域の方々が、**他に誇れ、応援したいと思える「おらが学校」
○**全教職員が、**子どもたちにとって「わくわく」「楽しい」ことの追求に向け、他と協働して組織的に取り組む学校**（働き方改革を含む）**

【板橋区の教育】
板橋区教育大綱　MIRAI SCHOOLいたばし-教育ビジョン2035- MIRAI SCHOOLいたばし-アクションプラン2028
【最も大切にする考え方】教育は人が幸せに生きるためにあります
教育を通して、学ぶ喜びや成長する喜び、人とつながる喜びを感じられる一人ひとりの生涯
１　子ども一人ひとりの可能性を引き出し、伸ばす教育の実現
２　子どもの学びと成長を支える人や環境づくり
３　生涯にわたり学び教え合えるしくみづくり
４　教育活動を支える基盤づくり

令和７年度学校評価結果

A 社会に開かれた学校づくり
【積極的な情報発信・受信・共有】
- ics だより発行回数５回。
- 保護者のコミュニティ・スクールへの認知度は 90%と昨年度より 22 ポイント上昇。

【学習支援ボランティアの活用】
- ボランティアの協力が多く得られた。
- 年度当初に各学年で依頼計画を立て、組織的に実施していく必要がある。

B 確かな学力の育成
【「板橋区授業スタンダード」の実施】
- 児童アンケートでの肯定的な回答は 89%。
- 引き続き、全ての児童の主体的に学ぶことができるよう、授業改善を推進していく必要がある。

【「分かる できる つくる楽しい授業」の実施と「学ぶ力」の育成】
- 国語や算数では、無回答率に課題がある。
- 自分でプランニングして学習に取り組む場面づくりが必要である。

C 豊かな心の涵養
【志六小のきまりの徹底】
- 児童アンケートでの肯定的な回答は 88%。
- 安全・安心に学ぶことができる学校づくりについて、子どもたちの参画を促す必要がある。

【不登校の問題への取組】
- 家庭と連携し、校内居場所登校やタブレット端末を活用した双方向型遠隔授業を模索する必要がある。
- 組織的な体制を組む必要がある。

H 教職員の働き方改革
【在校時間を意識した働き方の実践】
- 時間外在校等時間数月４５時間超の教員は年平均 37%であった。
- 校務分掌の見直しが必要である。

【リフレッシュのための休暇取得の促進】
- 休暇取得の割合は 69%と 11 ポイント増。
- ライフ・ワーク・バランスをさらに啓発し、計画的な休暇の取得促進が必要である。

令和６年度体力テスト結果及び日常の取組

D 体力の向上と安全指導
【運動の日常化・基礎体力の向上】
- 握力・柔軟性・投力に課題がみられる。
- 運動の日常化を目指した体育科の授業改善を更に進めていく必要がある。

【安全な教育の充実】
- 適宜柔軟な対応をすることができた。
- 月１回の安全指導を、より実態に即した指導にしていく必要がある。

令和８年度　Grand Design

Ａ社会に開かれた教育課程及び人が幸せに生きるための教育の実現
１目指す学校及び子どもの姿を家庭や地域社会と共有・連携した教育課程の実施
ア コミュニティ・スクール委員会（全員参加年３回）と学校支援地域本部を両輪とした学校力の向上
イ 地域の施設及び人材、学習材の意図的・計画的な活用　ウ 地域行事等への積極的な参加
エ ユネスコスクールへの加盟を目指した教育活動の価値付け（チャレンジスクールへの登録）
２タイムリーで積極的な情報発信と受信・共有
ア 学校だよりや学年だより等各種おたより、学校ホームページ等での情報発信
イ「今日起きたことは、今日のうちに対応する」迅速で的確な対応

Ｂ確かな学力の定着と育成ー主体的・対話的で深い学び、「目指す子ども像」の実現ー
１基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と、思考力、判断力、表現力等の育成
ア「板橋区授業スタンダード及びスタンダードS」「志六スタンダード」の共通理解と確実な実施
（めあて・自分の考え・友達の考え・振り返り・まとめ／INPUT→ THINK→ OUTPUT）
イ 問題解決型・探究型の授業の実施　ウ タブレット端末等の効果的な活用（すらら ドリル及びSurala-i）
エ 個に応じた指導の充実 ［少人数指導、ＴＴ］［ 特別支援学級（六組）、ひまわり教室との連携］ 等
２学びに向かう力、人間性等の涵養
ア 子どもが「学び続ける」授業革新（「分かる　できる　つくる　楽しい授業」）
イ 個別最適な学び・協働的な学びの導入　ウ 特別支援教育の充実（合理的配慮、ユニバーサルデザイン、交流及び共同学習）
エ 家庭との連携による学習習慣の定着（宿題と自主学習の区別、自主学習は３年３学期以降導入）
３教員の「学び変え続ける」指導力の向上（主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業革新）
ア 国及び都、区独自の学力に関する調査の結果分析（低中高学年ごとの授業改善推進プラン作成）
イＯＪＴの実施（**互いの授業から学ぶ、**各種研修、教育会、研究発表・他校種の授業参観を積極的に行い校内に還元）

Ｃ豊かな人間性の育成
１人権教育の推進
ア アサーション（自分も相手も大切にする自己表現）を取り上げた授業の実施
イ「志六小のきまり」「志六小の子」の具現化
ウ hyper-QU の結果の分析（「いじめ見逃しゼロ」に向けた取組）
エ 学びのエリアの意図的な交流活動の創意工夫（保幼小連携、小小連携、小中一貫教育）
２キャリア教育の充実
ア 児童の実態を踏まえた年間指導計画に基づく「自分を知る活動」と「体験活動の重視」
イ 子どもの主体的な活動（日常的な活動）の推進（カリキュラム・マネジメント）
３「特別の教科 道徳」の実施（重点指導「希望と勇気、努力と強い意志」「郷土愛」）
ア「考える」「議論する」学習の流れ（展開後段で自分を振り返り、行動化につなげる）
イ 自己肯定感の醸成
ウ 人間理解（自分を深く知る）他者理解（相手の気持ちを想像する）価値理解（価値を見直す）

Ｄ健やかな体の育成と安全指導
１健やかな体の育成
ア 防衛体力
①食育
（レガシー教育との関連、実態に応じた給食　等）
②健康教育（自分の心と体を知る）
イ 行動体力
①運動の日常化（運動をすることが好きな児童を育てる体育科の授業改善）
②体力テストの結果の分析
２安全教育の充実（安全教育プログラム・学校安全計画の策定）
ア生活安全
イ交通安全
ウ災害安全
自助・共助・公助
自分を守り　相手を守る
※「生命の安全教育」の確実な実施

■服務の厳正（服務の宣誓・法令遵守）毎月の研修の実施
・身分上、職務上の義務　・信用失墜行為の禁止　・体罰の禁止　・不適切な指導の禁止
・個人情報の管理　・会計事故の防止　・授業時数の確保　・交通事故、交通法規違反の防止
・わいせつ行為やハラスメントの防止　等

令和８年度教育課程（届）

Ａ社会に開かれた教育課程及び人が幸せに生きるための教育の実現
①家庭や地域社会と目指す学校及び子どもの姿を共有
②保幼小接続と小中一貫教育の推進
③コミュニティ・スクール委員会と学校支援地域本部を両輪とした学校力の向上

Ｂ確かな学力の育成
①知識及び技能の確実な習得、思考力、判断力、表現力等の育成
・「板橋区授業スタンダード」「志六スタンダード」の確実な実施と「板橋区修行スタンダードS」の推進
・目指す子ども像を実現する９年間の単元配列表作成
・個に応じた指導の充実
②学びに向かう力、人間性等の涵養
・一人一台端末を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
・地域を活用した探求的な学びの推進
・特別支援学級設置校としての強みを生かした個に応じた教育

ＣＤ豊かな心と健やかな体の育成
①福祉教育の充実
・道徳教育及び人権教育の推進と体験活動の充実
・話し合い活動による自治意識の醸成
②生徒指導の充実
・「いじめ防止基本方針」に基づく取組の充実
・安心して過ごせる居場所づくり（不登校未然防止）
③健康づくりの推進
・「する・みる・支える・知る」を視点とした運動の楽しみ方を学ぶ体育科教育の充実
・食習慣、運動習慣など基本的生活習慣の確立
④安全教育の充実
・自分たちの住む町を知る、災害に関するカリキュラムの編成

Ｅ保幼小接続・小中一貫教育の推進
・人間関係形成、社会参画、自己実現を支点とした資質能力を育成するための特別活動における話し合い活動の充実
・スタートカリキュラムによる円滑な入学支援
・学びのエリアでの相互理解による９年間を見通した指導
・キャリアパスポートによる児童の自己評価活動の実施
・郷土愛及び「これからの板橋を語れる子」の育成

Ｆ安心・安全に学べる居場所の充実
・自らの荷の安全を確保できる児童の育成
・生命の安全教育の確実な実施
・誰一人取り残さないための居場所づくり

Ｇ多様な教育的ニーズへの対応
・特別支援教育の視点による指導の徹底（アセスメントを通した個に応じた指導の充実）
・オンライン授業参加による家庭からの学習機会確保　等
・専門性を発揮できるようにするための意識改革と業務改善　等

令和８年度　取組指標と成果指標

A 社会に開かれた学校づくり
【取組指標】
1 学習支援ボランティアを全学級で活用し、教育活動を充実させます。
2 ics だよりを年間５回以上発行します。
【成果指標】
1 児童アンケート「わたしは、学校が PTA や地域の人に助けてもらっていることを知っている」満足回答 80%以上
2 保護者アンケート「学校はコミュニティ・スクールの活動内容をよく知らせている」認知度 80%以上

B 確かな学力の育成
【取組指標】
1 「板橋区授業スタンダード」「志六スタンダード・スタンダードS」を全教員が共通理解し、全学級で実施します。
2 子どもが「分かる　できる　つくる　楽しい授業」を全学級で実施します。
3 自分で計画を立てる自学自習を４年生以上の児童が行います。
【成果指標】
1 児童アンケート「わたしは、ノートに学習の「めあて」や「まとめ・ふりかえり」を書いている」80%以上
2 国の学力に関する調査で全国平均値以上

C 豊かな心の涵養
【取組指標】
1 「志六小のきまり」を全学級で具現化し徹底します。
2 教室に入ることができない児童の校内居場所「ほっとルーム」登校やタブレット活用の促進を行います。
【成果指標】
1 児童アンケート「わたしは、志六小のきまりが言える」80%以上
2 不登校児童数が昨年度より減少

H 教職員の働き方改革
【取組指標】
1 定時退庁日に全教職員が定時退勤できるよう仕事の効率化を進めます。
2 全教職員がリフレッシュするための休暇促進を行います。
【成果指標】
1 時間外在校等時間数月 45 時間超の教員が０人
2 有給休暇取得日数が年間 15 日以上の教員が 90%以上